

シンポジウム 2025.12.16～2025.12.17



2025年12月16日と17日の二日間にわたり、JS2レベルの学生たちが、三ヶ月間の「プロジェクトワーク」授業の集大成として、シンポジウムを行いました。テーマは JS2 友「外国に住む人がその国の人々に同化するべきか」、JS2 龍「未来はどこに向かうのか」です。

学生たちは、これまでの講義や討論活動、レポート作成などを通じて深めた知識や見識をもとに自分たちの意見をまとめ、その成果を発表しました。今回のシンポジウムのテーマは、両クラスとも学生が自ら設定したものです。そのテーマについて協働で多角的に分析し、発表内容をまとめました。



両クラスとも、自分自身に関係のあるテーマだったこともあり、皆積極的に授業に参加し、シンポジウム当日も、司会やパネリスト、他クラスからの参加者などがそれぞれの役割を果たし、質疑応答や討論が大変盛り上がりました。シンポジウム後の授業で行った振り返りでは、「JS 1 のシンポジウムの反省点を生かすことができた」「もっとこうすることができたはずだ」など、現状に満足することなく、もっと日本語でうまく表現できるようになりたいという姿勢が見受けられました。

今回のシンポジウムは、学生たちにとってプレゼンテーション能力やディスカッション力を実践的に試すことができる貴重な場となりました。千駄ヶ谷日本語教育研究所付属日本語学校の上級レベルの学生にふさわしい発表ができたのではないかと思います。今後、進学後の研究や発表の場でも、今回の経験が活かされること思います。

